

平成29年度 市民部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
<p>組織の基本方針又は使命</p>	<p>今年度取り組む事項</p>	<p>どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか</p>	<p>重点目標項目を実現するため行う活動や手段</p>	<p>目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)</p>	<p>※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)</p>	<p>目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み</p>
<p>・市政運営の基本となる自主財源である市税等の確保を図る。</p> <p>・持続可能な保険制度の維持確立。</p> <p>・市政への市民参画及び市民活動を促進するとともに、男女共同参画社会の形成を目指す。</p> <p>・すべての人が人間として尊重され、生きていく権利が保障されなければならない社会を築きあげるため、様々な人権施策を展開する。</p>	<p>1. 同志社大学・女子大学との連携事業の推進</p>	<p>・大学が持つ知的資源のまちづくりへの活用を目的とする。</p> <p>・市が抱える政策課題や重点事業について、市関係部署と大学教員・ゼミとの共同事業の立ち上げを目指す。 →立ち上げ事業数:2件</p>	<p>・まちづくり調査研究事業の手法見直しを行う。</p> <p>・南山城まちづくりラボを推進する。</p> <p>・大学教員との関係構築及び研究内容の把握(連携可能性調査)を行う。</p> <p>・他市における大学と行政との共同事業の事例研究を行う。</p> <p>・市政課題等ニーズとのマッチング(各課組織目標等の把握)を行う。</p>	<p>・これまでの同志社大学政策学部への委託からリエゾンオフィスを経由し、その目的に合った教員の紹介を受ける手法に見直した。それにより、市のニーズ(具体的課題)に応じて全学部の教員を対象に共同研究が出来るようになった。</p> <p>その一環で「駅ナカ案内所の活性化」について、産業振興課と同志社女子大学大津教授が共同研究を行い、当該施設の活性化に資するグルメマップを作成した。</p> <p>・同志社女子大学と連携し、市の課題等の解決を図る「南山城まちづくりラボ」プロジェクトを立ち上げ、女子大学と市(高齢介護課、健康推進課、産業振興課、市民参画課)で平成29年11月24日に「美しく歩くイベント」を開催した。</p> <p>・大学教員の元を訪問し、行政に対するニーズ等をヒアリングした。</p> <p>・連携の可能性があると考えられる部署へのヒアリングや関係する大学教員と協議を行うことで、「平成30年度まちづくり調査研究」の実施に向けて調整を行った。</p>	<p>A</p>	<p>・次年度は大学への委託から市との共同研究を行う方式に切り替える。</p> <p>・市の抱える課題に応じて、政策学部だけでなく、他の学部や女子大学の活用を進める。</p>

平成29年度 市民部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	2. 第2次京田辺市男女共同参画計画(改訂版)に基づく新規啓発講座の実施	・計画の改訂に伴い、平成28年度から開始した啓発講座を充実させ、男女共同参画に対する市民意識のさらなる向上を目指す。 →男女共同参画推進講座90人(30人×3回) →ポケット講座75人(15人×5回)	・市民を対象とした男女共同参画推進講座を開催する。 ・女性交流支援ルーム講座(ポケット講座)を開催する。	・男女いきいき・さんかくセミナー(3回シリーズ)を開催し、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて市民への啓発を行うことができた。(参加者数:45人) ・ポケットサロンを5回開催し、男女共同参画に関する日常生活上の身近な話題を取り上げ啓発を行うことができた。(参加者数:36人)	A	
	3. 未申告者への申告勧奨	・申告書の郵送及び臨戸訪問の実施により、現年度及び過年度未申告者への申告を促し、公正な課税を行う。	・未申告者を抽出する。(7月) ・申告書を発送する。(8月) ・臨戸訪問を実施する。(10月)	10月～12月に未申告者(218件)の臨戸訪問等を実施し、97件申告された。	A	
	4. 国保特別会計の歳出抑制の取り組み	・医療費の抑制と被保険者の自己負担の軽減を図る。	・ジェネリック医薬品差額通知及び効果検証を行う。	・ジェネリック医薬品差額通知発行者…延べ2,600名 ・ジェネリック医薬品普及率(数量)…63%(平均値:前年度比1%増)	A	・費用対効果を考えると、今後も医療費削減額が頭打ちになるまで継続する。

平成29年度 市民部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	5. マイナンバーカード交付を円滑に行う。	・全市民の15%の方に対してマイナンバーカードの交付を目指す。	・広報紙、HP等で周知し、また日曜日(月に1回)にも交付窓口を開設することにより、推進を図る。	・申請率 約12.3% (8542/69272) ・交付率 約10% (6959/69272)	B	・市広報紙や個別通知、また、引き続き日曜日に開庁し、交付促進を図る。
	6. 市民への人権意識・思想の普及	・人権意識の普及のため、市民への各種事業展開を図る。	・以下の事業を開催する。 ・ヒューマン映画上映会 ・人権問題研修会 ・わくわくワークショップ ・ハートフルフェスタ ・犯罪被害者支援講演会 ・その他各種啓発事業	・ヒューマン映画上映会 参加者130名 (前年度比増) ・人権問題研修会(3日間) 参加者721名 (前年度比増) ・わくわくWS・FW 参加者27名 (前年度比減) ・ハートフルフェスタ 来場者130名 (前年度比減) ・犯罪被害者支援啓発事業 ホンデリング事業 回収数 5,458冊 寄付額 92,187円 (前年度比、いずれも増) 講演会 来場者70名 (前年度比増)	A	・人権問題へ一人でも多くの方に関心を持ってもらえるような、テーマを取り上げる。  ・啓発手法について、効果的なものとなるよう、SNSの活用を進める。